

### 3.6.2 研究開発推進部門 特別研究推進室

室長 田島久巳 ほか6名

#### 先進的な研究開発や通信・放送融合技術の研究開発を行う企業等への助成金支給等による支援

##### 概要

- (1) 情報家電とIPv6インターネットの活用によるネットワーク利活用技術等の研究開発を委託研究により実施し、応募案件の採択に当たっては外部の有識者・専門家から構成する外部評価委員会の審査結果に基づき、制度目的に沿って高い研究開発成果が期待される案件の採択に努める。また、研究開発途中において計画に沿った成果が得られているか適宜実地調査を行うほか、適切な経理検査を行う。さらに、研究開発終了後は事後評価を実施する。
- (2) 先進技術型研究開発助成金について制度内容の周知のため制度説明会を全国で実施し、公募を開始するに当たっては官報、HPに掲載して周知を図る。また、応募案件の採択に当たっては、外部の有識者、専門家から構成する外部評価委員会の審査結果に基づき、それぞれ三制度の目的に沿って高い研究成果が期待される案件の採択に努めるほか、事務処理の効率化を図り応募終了から一定期間内に助成金の交付ができるよう努める。さらに、研究開発途中において計画に沿った成果が得られているか適宜実地調査を行うほか、適切な経理検査を実施する。
- (3) 通信・放送融合技術開発促進助成金について応募案件の採択に当たり外部評価委員会の審査結果に基づき、制度目的に沿って高い研究成果が期待される案件の採択に努め、その採択結果はHPで公表する。また、応募終了後から一定期間内に助成金を交付できるよう事務処理の効率化に努める。さらに、研究開発途中において計画に沿った成果が得られているか適宜実地調査を行うとともに、研究開発終了後に事後評価を行い、その結果を事業者へ通知する。
- (4) 通信・放送融合技術開発システム整備についてシステムの利用拡大のため、HPの更新、パンフレットの作成による情報発信に努め、アンケートを実施してその調査結果を参考に利用環境の改善を図り、同時に、業界等の動向を踏まえてシステムの拡充を図る。

##### 平成17年度の成果

- (1) IPv6情報家電研究開発：外部評価委員会による公正な審査により、高い研究成果が期待される案件を採択した。研究期間中において計画どおりの成果が得られているか委託先に適宜実施調査等を行ったほか、経理専門家を活用し適切な経理検査を行った。また、前年度の委託研究案件(10件)について、外部評価委員会による事後評価を実施し、A評価：4件、B評価：6件、C評価：1件(同一案件名の下、2件の報告書審査を含む)の評価を得た。
- (2) 先進技術型研究開発助成金交付(三制度)：4月公募内容の報道発表を行い、官報、HPに掲載するとともに、全国で制度の説明会を行った。外部評価委員会による公正な審査により、高い研究成果が期待される案件を採択した。事務処理の効率化を図り、標準事務処理期間(60日間)以内に交付決定を行った。11月に高齢者・障害者向け通信放送サービス充実研究開発助成金に係る研究成果発表会を開催し、業務成果の周知を図り、参加者へのアンケートでは回答者の9割以上から肯定的な回答を得た。助成事業者に対し実施調査を行ったほか、経理専門家を活用し適切な経理検査を行った。
- (3) 通信・放送融合技術開発促進助成金交付業務：外部評価委員会による公正な審査により、高い研究成果が期待される案件を採択し、その結果をHPで公表した。平成16年度に助成した12件の事業について外部評価委員会により事後評価を行い、所期の成果が得られたとの評価結果を受け、その結果を事業者へ通知した。事務処理の効率化を図り、標準事務処理期間(50日間)以内に交付決定を行った。助成事業者に対し実施調査を行ったほか、経理専門家を活用し適切な経理検査を行った。
- (4) 通信・放送融合技術開発システムの整備・運営：利用者向けHPの更新、パンフレット作成、講演会場でのパネルの展示等を行い利用者拡大に向け情報発信を行った。また、利用者へアンケート調査を行い、同調査結果及び業界等の動向を踏まえて次年度利用に向けたシステム拡充に着手するなど利用環境の改善を図った。